

陽だまりの福祉有償運送サービスを利用し、  
運転手⑤の介助で車を降りる高齢男性  
(東広島市)



## 採算合わず運転手も不足

# 福祉有償運送 担い手が苦慮

介助が必要な高齢者や障害者を自家用車などを使って送迎する「福祉有償運送」を担う団体が運営に苦慮している。採算が合いにくい上、ボランティア主体の運転手も高齢化が進み、確保が難航。多様な移動サービス需要が高まる中、専門家からは公的支援の必要性を指摘する声もある。

(教蓮孝臣)

東広島市内の男性(90)は、後も不自由なく暮らせてい週1、2回、認定NPO法人「陽だまり」(西条中央)のサービスを利用し、約10年、道路運送法が改正され離れたかかりつけの病院などに通う。料金は乗車料と介助料を合わせて片道千数百円。男性は「タクシーよりかなり安く、乗り降りも手助けしてくれてありがたい。運転免許を返納した

福祉有償運送は2006年、道路運送法が改正されて始まった。一定条件を満たす非営利団体などが国や自治体に登録。自家用車で介助付きのドアトゥードアの送迎をする。民業圧迫にならないよう、地元自治体や交通事業者などでつく

## 東広島市が補助制度 さらなる支援 求める声も

東広島市は24年度、移動支援に取り組む団体を後押ししようと、補助制度を設けた。陽だまりは実施団体として、年150万円を上限に補助を受ける。市川マヤ代表理事(56)は「補助はかなり助かるが、ガソリン代高騰などで経費もかさみ、ぎりぎりの運営は変わらない」と説明。運転手養成の講習会開催など自治体のさらなる支援も願う。

広島大の藤原章正教授(交通計画)は「自治体はまず少子高齢社会を見据えた地域の交通ビジョンを明確に打ち出し、福祉有償運送の位置付けと重要性を示すべきだ。事業者の声を丁寧に関きながら的確な支援を考えてほしい」と指摘する。

### 呉・東広島

呉支社 ☎0823(3)5157 FAX(3)4817  
東広島総局 ☎082(4)2600 FAX(4)0124  
竹原支局 ☎084(6)2363 FAX(6)0027  
江田島支局 ☎0823(4)0213 FAX(4)0008

る運営協議会で合意を得た料金でサービス提供する。中国運輸局によると、県内は23年度、14団体が登録。NPO法人や社会福祉法人が大半を占め、福祉有償運送分野での赤字を法人内の他事業の収益で埋め合わせるケースも少なくない。

陽だまりは06年からサービスを提供。利用は年々増え、今は月100件以上ある。だが、低料金の設定しきれず、車両維持費や運転手の手当などを差し引くと常に赤字だ。高齢者がボランティアで担うことが多い。運転手も慢性的に足りない。